

ご挨拶



平素より岐阜県特別支援教育推進連盟につきまして、ご支援、ご鞭撻をいただいておりますこと心より御礼申し上げます。

私、会長を拝命いたしまして3年目となりました出口 和宏(でぐち かずひろ)と申します。岐阜県立特別支援学校長を定年退職した後、現在は岐阜大学教職大学院に勤務しております。誠心誠意、この大役を務めさせていただく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍を経て、社会も落ち着きを取り戻してまいりました。この間、障がい児・者に携わり、また支える関係者の皆様が、様々な困難や制約に直面しながらも献身的な取り組みを続けられたこと、重ねて御礼申し上げます。

当連盟では、学校における個別の多様な教育的ニーズに応える特別支援教育や、その前後の福祉サービス、サポート等を保護者や団体の皆様と推進するため、個別の教育支援計画を柱とした切れ目のない支援体制の確立を目指しております。

一人ひとりの特性や課題を理解し、ライフステージを通じて、個別のニーズに応じた教育、福祉、医療、保健、労働等が連携し、切れ目なく行われることにより、障がい児・者の自立と社会参加が推進され、やがては共生社会の実現へとつながるものと信じております。

さらに、ライフステージと言えば、障がいのある方々とその保護者の皆様の高齢化に関する諸課題は山積しております。本人と家族の方々への支援のさらなる充実、適切な生活支援サービスや介護施設の充実が望まれます。

当連盟は1984年(昭和59年)11月に発足し、今年で丸42年を迎えます。その間に、特別支援教育への理解啓発、制度や環境の整備、関係機関との連携等は、会員の皆様のお力もあり、飛躍的に進んでまいりました。しかし、今年度に2団体が脱退され、10団体、全体会員数は6,000人程となりました。残念ながら、近年、減少の傾向が顕著です。また、会員の皆様の高齢化や各団体のニーズの多様化等の新たな課題も明らかになってまいりました。

このような現状を踏まえ、昨年度から始めました当連盟の在り方と今後についての検討を継続し、改善を加えながら岐阜県の障がい児・者の教育と福祉の振興に取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、一層のご支援、ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます、会長3年目のご挨拶とさせていただきます。

令和8年6月吉日

岐阜県特別支援教育推進連盟
会長 出口 和宏